

2021年 12月22日
富田薬品株式会社

News Release

熊本県 人吉球磨エリア災害対策実証試験について

人吉球磨薬剤師会および熊本県薬剤師会は、球磨川氾濫に備えた災害対策訓練および実証試験を12月17日・19日に実施いたしました。協力企業として富田薬品株式会社（本社：熊本県熊本市）および株式会社日立ソリューションズ西日本（本社：広島県広島市）が参加いたしました。

人吉球磨薬剤師会は令和2年7月に熊本県南部球磨川の氾濫による甚大な災害を経験いたしました。人吉市内においては3分の1の薬局が開局できない状態に陥り、避難住民への処方薬の対応に対して数多くの難題に直面いたしました。お薬手帳や健康保険証を持たない状態の避難患者に対して、本人確認や患者の医療情報や処方箋情報の確認に苦労したほか、水没した薬局も数多く発生したため医薬品の在庫の確保にも労力を要しました。

台風のみならず線状降水帯の影響は毎年の様に起こり得るため、球磨川における災害への備えは急務であることから、今回2つのテーマに分けて実証と訓練を実施いたしました。

「自然災害発生時における院外処方せん対応方法の検証」

- ①災害時医療機関連携：災害発生時の薬局安否確認
- ②被災者の本人確認（資格確認）と災害時PHR機能の検証

○ 富田薬品が提供したシステム 「Triton-sys トリトンシステム」

医療機関および薬局において自由にグループをつくり、医薬品の備蓄情報を共有するシステム。形成されたグループ間においては文書情報の共有も可能となる。災害発生時の薬局の安否確認（アンケート機能）や医薬品在庫のシェアに活用できる。

○ 日立ソリューションズ西日本が提供したシステム 「生体認証基盤PBI」

公開型生体認証基盤（PBI）を用いた顔認証システムを活用することにより災害時のPHR機能を提供する。スマホやパソコンのウェブカメラを使って顔の特徴から本人確認を実施し、予めクラウドに入力しておいた個人の医療情報や処方箋情報を参照できるしくみ。ご家族などを登録しておくことにより処方薬の代理人による受取にも活用できる。

人吉球磨薬剤師会の薬剤師のほとんどが甚大な被災を経験していることから、ご意見を聴取しながら実証試験を実施いたしました。実証試験後には事後アンケートを収集し、より良いシステムを検証して行きたいと考えております。

<本件に関するお問い合わせ先>

担当部署： 富田薬品株式会社 医薬マーケティンググループ

担当者： 林 清隆

Tel： 096-373-1136 Fax：096-373-1118

E-mail：k2-hayashi@tomita-pharma.co.jp

ホームページからのお問い合わせ：<https://www.tomita-pharma.co.jp/>

■ 個人情報の取り扱いについて

本お問い合わせ先に送られる個人情報は、お問い合わせへの対応のみに使用し、お客様の承諾なく、いただいた個人情報を第三者に提供いたしません。第三者への提供する必要が発生した場合はその都度、ご本人にご連絡申し上げ、ご了解を頂きます。